

令和 7 年度
施政及び予算（案）の概要

1. 主要施策の概要	1
2. 予算概要	2
3. 主要施策	3 ～ 13
（1）子育て・教育 世界一のまちへ	3 ～ 6
（2）緑あふれる 突き抜けるブランド力あるまちへ	7 ～ 10
（3）便利で安心 歩いてどこでも行けるまちへ	11 ～ 13

【別添資料】令和 7 年第 1 回箕面市議会定例会 提出事件の概要

令和 7 年（2025 年）2 月
箕 面 市

主要施策の概要

子育て・教育 世界一のまちへ

【真に使い勝手の良い子育て支援策の実現】

■ 予算額▶2億8,900万円

地方創生臨時交付金を活用し、中学3年生以下の子どもを対象に一人1万円の給付金を支給します。

子育て家庭の経済的支援に加え、育児不安の解消など保護者や子どもたちのSOSにいち早く気づくため、希望に応じて初回無料*でヘルパーを派遣する「ぴよぴよサポート事業」と子育て経験等がある見守り配達員が毎月訪問し、おむつ2袋分に相当する支給品を配達する「見守りおむつ定期便事業」を実施します。

※2回目以降の利用も一般で利用するよりも格安で利用可能



【不妊・不育治療の支援】

■ 予算額▶1,400万円

不妊や不育治療にかかる精神的・経済的な負担を軽減するため、不妊・不育治療を受けられた夫婦を対象に、検査や治療に要する費用の一部を上限5万円で助成します。

【箕面版スクールロイヤーの配置】

■ 予算額▶700万円

弁護士資格を有する職員を新たにフルタイム職員として雇用し、箕面版スクールロイヤーとして配置することで、学校関係者への相談対応や研修の実施、いじめや問題行動などの課題に対する迅速な法的助言が可能となります。これにより、事案の早期対応と解決を図り、児童生徒や保護者が安心して学校生活を送れる環境を整えます。

【英語教育の充実】

■ 予算額▶3億8,100万円

より多くの児童生徒が生きた英語に接し、真に使える英語力を身につけるため、国際協力都市であるニュージーランドのハット市に加え、新たに時差が少ないフィリピンなどの国とオンラインで交流できる環境を整えます。



【学校水泳授業における民間活用・室内温水プールの整備】

■ 予算額▶8億6,000万円

先行実施していた北小学校、箕面小学校、豊川北小学校、萱野北小学校、彩都の丘小学校の5校に加え、西南小学校及びとどろみの森学園の2校でも、民間プールを活用した水泳授業を実施します。

学校水泳授業の受け皿となり、市民利用も可能な室内温水プールを第二総合運動場に隣接する西ノ池跡地に整備します。令和8年度の供用開始に向けて、DBO方式*により指定管理者と整備事業者を一体的に募集し、民間事業者の創意工夫を積極的に取り入れます。

※DBO方式:Design・Build・Operate(設計・建設・運営・維持管理)方式



【「あいあい園」の機能強化】

■ 予算額▶2,700万円

地域全体の障害児支援の充実を図るため、早期療育を実施する児童発達支援事業所「あいあい園」を障害児の外来リハビリテーションを行う診療所を併設する「児童発達支援センター」として機能強化し、市役所第二別館に移転します。

緑あふれる 突き抜けるブランド力あるまちへ

【桜の植樹・箕面市みどりの基本計画の改定】

■ 予算額▶600万円

特徴ある景観を創出し、住宅都市としてのブランド価値を高めるため、芦原公園の蓮池跡地に整備した広場に15本の桜を植樹します。都市緑地法に基づく都市の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画である「箕面市みどりの基本計画」について、社会情勢の変化に対応し、望ましい将来像とその実現化方策を踏まえた計画に改定します。

【(仮称)新みのおサンプラザ1号館の整備】

■ 予算額▶16億5,900万円

令和9年度のオープンに向け、市が取得予定である(仮称)新みのおサンプラザ1号館の1階から3階について、市が作成するモデルプランに基づき、事業者の自由な提案を公募し、事業運営予定者を決定します。合わせて、アーケードの改修など、箕面駅前の周辺整備の設計に着手します。

【市役所屋上の一部緑化と一般開放】

■ 予算額▶2,600万円

市民や来庁者が箕面の魅力を感じることができる交流・憩いの場とするため、箕面の山なみが一望できる市役所本館の屋上の一部に緑を取り入れた広場の整備を行い、箕面市役所として初めて一般に開放します。



【滝道の活性化】

■ 予算額▶2,400万円

市民が誇れる魅力的な観光エリアとするため、滝道に自然環境と調和したポケットパークを整備するとともに、サブリースによる滝道の空き店舗の有効活用を促進します。

令和7年度は「子育て・教育 世界一のまちへ」「緑あふれる 突き抜けるブランド力あるまちへ」「便利で安心 歩いてどこでも行けるまちへ」の3つの基本政策により、さまざまな取り組みを進めていきます。ここでは、その中でも重点的に取り組む事業を予算額とともにご紹介します。

【阪急桜井駅周辺の活性化】

■ 予算額▶4億円

駅南側からのアクセス向上や駅周辺の活性化のため、令和9年の南改札口の設置に向け、阪急電鉄株式会社と連携し進めます。改札口設置に合わせ、令和7年度は桜井踏切南側の道路を歩行者が安全に通行できるよう、道路改良工事を実施します。

【新市立病院の移転・建替え、指定管理者制度の導入】

■ 予算額▶29億2,600万円

令和7年4月から、箕面市立病院において指定管理者(医療法人協和会)による運営を開始します。市立病院の移転・建替えについては、現在の建設市況を分析した結果、発注方式を「基本設計からのデザインビルド方式」から「設計施工分離方式」に見直し、基本設計に着手し、早期開院をめざします。

便利で安心 歩いてどこでも行けるまちへ

【バス路線網の最適化・オレンジゆずるバスのルート再編】

■ 予算額▶1億4,400万円

バス路線再編後の利用状況やアンケート結果などをもとに、路線バスの社会実験結果に伴う見直しやオレンジゆずるバスのルート等の見直しを進め、最適な運行内容を決定します。

【新たな地域公共交通の導入】

■ 予算額▶5,800万円

多様化する移動ニーズに対応した新たな地域公共交通の仕組みの構築をめざし、箕面・新稲及び粟生間谷・彩都の高低差の大きい地域で実証運行中のAIオンデマンド交通「のーと箕面」や、市内外のサイクルステーションで電動アシスト自転車を自由に貸出・返却できるシェアサイクルのサイクルステーション拡充を行います。



【「箕面市・豊能町の今後の消防需要に基づく消防力保全計画」による消防拠点の整備】

■ 予算額▶6億3,500万円

市内5か所目の新たな消防署「(仮称)箕面中部拠点」の工事を継続するとともに、東分署の移転・建替え先である「(仮称)箕面東A拠点」の造成工事を進め、建築工事に着手します。両拠点とも令和8年4月の開署をめざします。



【アートプロジェクト】

■ 予算額▶500万円

文化活動を身近に感じられるアートに溢れた空間を創出するため、公共施設でのアート作品展示、ガラス扉やチョークボードを使ったアート制作のほか、箕面駅・桜井駅、箕面船場阪大前駅の野外ステージ等を活用し、音楽やダンスを楽しめる環境を整えます。



【オレンジゆずるタクシー当日予約枠の復活】

■ 予算額▶3,800万円

当日予約枠を廃止する運用としていたオレンジゆずるタクシーについて、令和7年4月から当日予約枠を復活させ、電話予約時間も8時から17時までに拡大させるなど運用を変更します。

【防災力の向上】

■ 予算額▶3億4,700万円

既存の避難所を「完全プライベート型避難所」へと整備し、生活環境を改善するため、約5千張りのテント型パーティションなどの資機材を追加整備します。これにより、全避難所で約1万3千人分のプライバシーに配慮した衛生的な空間を確保します。

地域防災ステーションの設置を拡充し、誰もが歩いて行ける距離に避難所または地域防災ステーションがある環境をめざします。

災害対策本部の機能強化を図るため、災害発生場所や範囲、各対策部の対応状況などを一元管理・共有する情報共有システムや大型モニターの導入等を行います。

【障害者自立支援センターあかつき園・いろはもみじ萱野の整備】

■ 予算額▶8億5,400万円

中部地域に、定員60人の市立生活介護事業所「いろはもみじ萱野」を整備し、令和7年7月に開所します。

老朽化が著しい「あかつき園」の建替えについては、令和7年度から本格的な工事に着手し、定員を30人増やし、100人規模の市立生活介護事業所として令和9年4月の開所をめざします。



令和7年度（2025年度）予算概要

単位：千円、%					
会 計		令和 7 年度 (2025年度) A	令和 6 年度 (2024年度) B	増 減	
				増 減 額 C (A－B)	増 減 率 C／B
一般会計		73, 480, 000	68, 750, 000	4, 730, 000	6. 9
特別会計	財産区事業費	1, 704, 410	1, 726, 092	▲ 21, 682	▲ 1. 3
	国民健康保険事業費	13, 452, 615	14, 277, 610	▲ 824, 995	▲ 5. 8
	介護保険事業費	12, 314, 824	11, 527, 608	787, 216	6. 8
	後期高齢者医療事業費	3, 193, 768	3, 342, 652	▲ 148, 884	▲ 4. 5
	公共用地先行取得事業費	1, 621, 338	2, 376, 621	▲ 755, 283	▲ 31. 8
	介護サービス事業費	12, 359	12, 172	187	1. 5
	特別会計の計	32, 299, 314	33, 262, 755	▲ 963, 441	▲ 2. 9
企業会計	病院事業会計	2, 926, 076	11, 138, 127	▲ 8, 212, 051	▲ 73. 7
	水道事業会計	4, 136, 250	4, 276, 051	▲ 139, 801	▲ 3. 3
	公共下水道事業会計	3, 645, 631	3, 424, 744	220, 887	6. 4
	ボートレース事業会計	94, 980, 568	56, 969, 767	38, 010, 801	66. 7
	企業会計の計	105, 688, 525	75, 808, 689	29, 879, 836	39. 4
合 計		211, 467, 839	177, 821, 444	33, 646, 395	18. 9

**** 当初予算の全体像 ****

《一般会計の予算額》 734億80百万円 < + 47億30百万円、 + 6.9% >

（仮称）新みのおサンプラザ1号館のフロア取得や学校の長寿命化改修の工事着手、市立病院の指定管理者制度への移行にかかる繰出などにより、約47億円増加しました。

《全会計の予算額》 2,114億68百万円 < + 336億46百万円、 + 18.9% >

ボートレース事業会計において、SG競走（グランプリ）の開催年にあたるため、予算規模が拡大したことなどにより、全会計の予算総額が約336億円増加しました。

◆ 一般会計の主な歳入の状況

・市税 273億88百万円 < + 18億44百万円【※】、 + 7.2% >

個人市民税における定額減税の終了及び所得・納税義務者数の増加、新築物件の増などによる固定資産税の堅調な伸びなどにより、約18億円増加しました。
※定額減税の定額減税の終了による復元（約6億円）を含む。なお、定額減税は地方特例交付金で補填。

・市債 49億63百万円 < ▲ 26億42百万円、 ▲ 34.7% >

学校の長寿命化改修やあかつき園の再整備、消防拠点の整備などの財源として市債を発行する予定です。

・ボートレース事業会計繰入金 30億円 < + 10億円、+50.0% >

好調な業績を背景に、前年度当初予算から10億円増加した30億円の繰入金を見込んでいます。
新市立病院の整備に関する事業に活用します。

◆ 一般会計の主な歳出の状況

・補助費等（各種補助金など） 56億96百万円 < + 24億74百万円、 +76.8% >

市立病院の指定管理者制度への移行にかかる繰出の増加や、定額減税にかかる不足額給付の実施などにより、約25億円増加しました。

・物件費（委託料など） 127億87百万円 < + 17億49百万円、 + 15.8% >

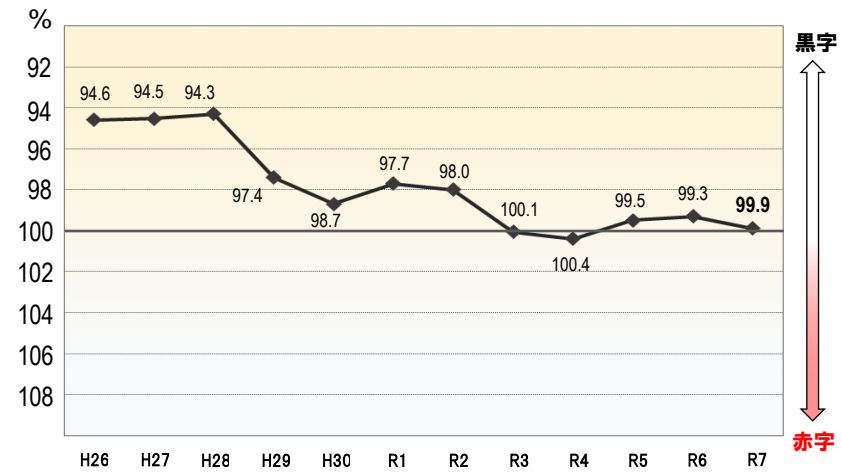
市職員の業務用端末更新や、システム標準化、図書館システムの更新などを行います。

・人件費 123億91百万円 < + 11億10百万円、 + 9.8% >

令和6年度人事院勧告による職員給与費の増加や、任期付職員の処遇改善（常勤職員化等）、会計年度任用職員の報酬改定などにより約11億円増加しました。

**** 収支バランスの状況 ****

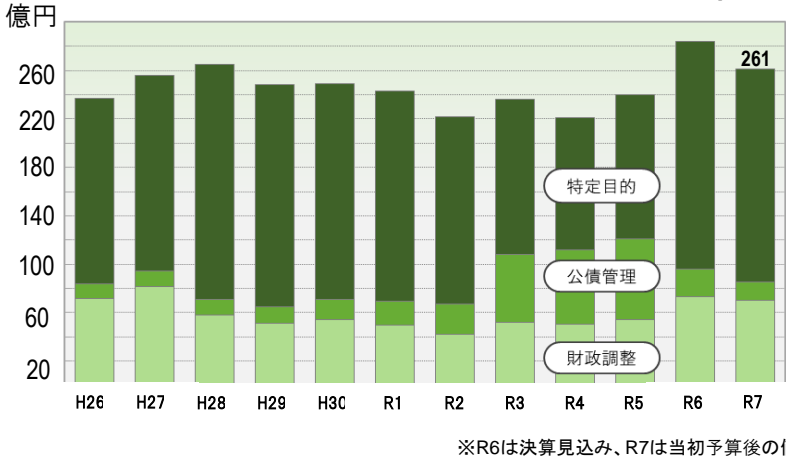
◆ 経常収支比率（当初予算ベース） 99.9% < + 0.6ポイント >



市税収入が増加した一方で、人件費や社会保障関係費の増加、物価高騰の影響などにより昨年度から0.6ポイント上昇しました。

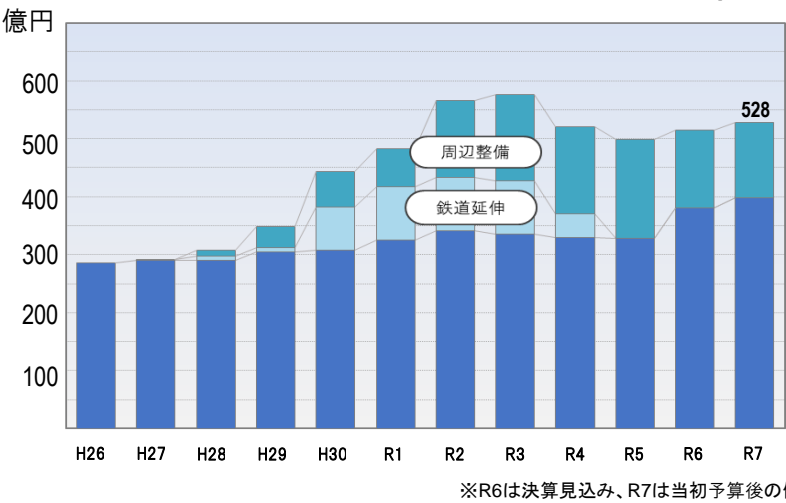
扶助費等の社会保障関係費や、物価高騰（人件費含む）の影響による経費の増加は、今後も注視が必要であり、気を引き締めた行財政運営が必要です。

◆ 基金残高（普通会計ベース） 260億65百万円 < ▲ 23億11百万円、▲ 8.1% >



新市立病院の整備に活用するため「新市立病院整備基金」にボートレース事業会計繰入金を積み立てる一方で、（仮称）新みのおサンプラザ1号館のフロア取得などに基金を活用することにより、基金残高は約23億円減少しました。

◆ 市債残高（普通会計ベース） 527億53百万円 < + 12億56百万円、+ 2.4% >



学校の長寿命化改修や、あかつき園の再整備、消防拠点整備などにかかる市債を発行するため、市債残高は約13億円増加しました。

令和7年度（2025年度）主要施策

「子育て・教育 世界一のまちへ」「緑あふれる 突き抜けるブランド力あるまちへ」「便利で安心 歩いてどこでも行けるまちへ」の3つの基本政策に基づく令和7年度(2025年度)の主要施策の概要は次のとおりです。

なお、◆印は施政方針に記載している重点施策であることを示しています。また、金額は当該重点施策を含む全体事業費で示しているため、重点施策にかかる費用を上回る場合があります。

1. 子育て・教育 世界一のまちへ

◆真に使い勝手の良い子育て支援策の実現

地方創生臨時交付金を活用し、中学3年生以下の子どもを対象に一人1万円の給付金を支給します。

子育て家庭の経済的支援に加え、育児不安の解消など保護者や子どもたちの SOS にいち早く気づくため、希望に応じて初回無料※でヘルパーを派遣する「ぴよぴよサポート事業」と子育て経験等がある見守り配達員が毎月訪問し、おむつ2袋分に相当する支給品を配達する「見守りおむつ定期便事業」を実施します。

※2回目以降の利用も一般で利用するよりも格安で利用可能

◆不妊・不育治療の支援

不妊や不育治療に係る精神的・経済的な負担を軽減するため、不妊・不育治療を受けられた夫婦を対象に、検査や治療に要する費用の一部を上限5万円で助成します。

◆「あいあい園」の機能強化

地域全体の障害児支援の充実を図るため、早期療育を実施する児童発達支援事業所「あいあい園」を障害児の外来リハビリテーションを行う診療

所を併設する「児童発達支援センター」として機能強化し、市役所第二別館に移転します。

◆箕面版スクールロイヤーの配置

弁護士資格を有する職員を新たにフルタイム職員として雇用し、箕面版スクールロイヤーとして教育委員会事務局に配置することで、学校関係者への相談対応や研修の実施、いじめや問題行動などの課題に対する迅速な法的助言が可能となります。これにより、事案の早期対応と解決を図り、児童生徒や保護者が安心して学校生活を送れる環境を整えます。

◆教員事務支援員、授業支援員等の配置

生徒指導や不登校対策支援など教職員がそれぞれの専門性を最大限発揮できる学校組織体制を構築するため、教員事務支援員の全校継続配置に加え、生徒指導担当を専任化するための授業支援員や校内教育支援センターにて不登校等の児童生徒を支援する校内教育支援員を増員します。

◆英語教育の充実

より多くの児童生徒が生きた英語に接し、真に使える英語力を身につけるため、国際協力都市であるニュージーランドのハット市に加え、新たに時差が少ないフィリピンなどの国とオンラインで交流できる環境を整えます。

◆学校水泳授業における民間活用・室内温水プールの整備

先行実施していた北小学校、箕面小学校、豊川北小学校、萱野北小学校、彩都の丘小学校の5校に加え、西南小学校及びとどろみの森学園の2

校でも、民間プールを活用した水泳授業を実施します。

学校水泳授業の受け皿となり、市民利用も可能な室内温水プールを第二総合運動場に隣接する西ノ池跡地に整備します。令和8年度の供用開始に向けて、DBO方式※により指定管理者と整備事業者を一体的に募集し、民間事業者の創意工夫を積極的に取り入れます。

※DBO方式:Design - Build . Operate(設計 - 建設 - 運営・維持管理)方式

◆若者相談の充実

様々な悩みがあるが窓口相談しづらい若者への支援を充実できるよう、SNSを活用した若者相談を実施するとともに、(仮称)子ども・若者支援地域協議会を設置します。

◇安全安心な学校環境の整備

「箕面市学校施設の長寿命化計画」に基づき、学校施設の改修を行います。第六中学校の設計及び工事、箕面小学校の調査・設計及びプール解体・防火水槽設置の設計を行います。

◇部活動改革の推進

生徒にとって望ましい部活動の環境の構築、教員の負担軽減を目的に、スポーツ庁のモデル事業を活用した検証をベースに、まずは通年の休日のみの地域展開の取り組みを行います。

事業内容	種別	予算額(千円)	所管部局
・真に使い勝手の良い子育て支援策の実現	新規	289,268	子ども未来創造局
・不妊・不育治療の支援	新規	14,000	子ども未来創造局

主要施策

・「あいあい園」の機能強化	継続	26,880	子ども未来創造局
・箕面版スクールロイヤーの配置	新規	6,904	子ども未来創造局
・教員事務支援員、授業支援員等の配置	継続	139,681	子ども未来創造局
・英語教育の充実	継続	380,778	子ども未来創造局
・学校水泳授業における民間活用・室内温水プールの整備	継続	860,409	子ども未来創造局
・若者相談の充実	新規	8,711	子ども未来創造局
・安全安心な学校環境の整備	継続	1,521,231	子ども未来創造局
・部活動改革の推進	継続	8,522	子ども未来創造局

2. 緑あふれる 突き抜けるブランド力あるまちへ

◆桜の植樹・箕面市みどりの基本計画の改定

特徴ある景観を創出し、住宅都市としてのブランド価値を高めるため、芦原公園の蓮池跡地に整備した広場に15本の桜を植樹します。

都市緑地法に基づく都市の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画である「箕面市みどりの基本計画」について、社会情勢の変化に対応し、望ましい将来像とその実現化方策を踏まえた計画に改定します。

◆公園施設長寿命化計画に基づく公園のリニューアル

各小学校区で1公園ずつ進めている公園整備について、新年度は、箕面東公園、桜南公園、阿比太公園、箕面西北公園をリニューアルします。そのほか、3公園のトイレの洋式化等を行います。

◆市役所屋上の一部緑化と一般開放

市民や来庁者が箕面の魅力を感じることができる交流・憩いの場とするため、箕面の山なみが一望できる市役所本館の屋上の一部に緑化した広場の整備を行い、箕面市役所として初めて一般に開放します。

◆（仮称）新みのおサンプラザ1号館の整備

令和9年度のオープンに向け、市が取得予定である（仮称）新みのおサンプラザ1号館の1階から3階について、市が作成するモデルプランに基づき、事業者の自由な提案を公募し、事業運営予定者を決定します。合わせて、アーケードの改修など、箕面駅前の周辺整備の設計に着手します。

◆滝道の活性化

市民が誇れる魅力的な観光エリアとするため、滝道に自然環境と調和したポケットパークを整備するとともに、サブリースによる滝道の空き店舗の

有効活用を促進します。

◆阪急桜井駅周辺の活性化

駅南側からのアクセス向上や駅周辺の活性化のため、令和9年の南改札口の設置に向け、阪急電鉄株式会社と連携し進めます。

改札口設置に合わせ、新年度は桜井踏切南側の道路を歩行者が安全に通行できるよう、道路改良工事を実施します。

◆アートプロジェクト

文化活動を身近に感じられるアートに溢れた空間を創出するため、公共施設でのアート作品展示、ガラス扉やチョークボードを使ったアート制作のほか、箕面駅・桜井駅、箕面船場阪大前駅の野外ステージ等を活用し、音楽やダンスを楽しめる環境を整えます。

◆ニュージーランドのハット市との国際協力都市30周年

ハット市長を含む訪問団を招き、記念式典やニュージーランドフェアを開催し、国際交流を深めるとともに、世界に開かれた、多文化が共生するまちづくりを進めます。

◆スポーツチームとの連携

子どもから高齢者までが気軽にスポーツに親しむことができるよう、箕面にゆかりのあるスポーツチームとの連携を深め、ガンバ大阪の市民応援デーとしてパブリックビューイングを実施するなど各種イベントを開催します。

◆新市立病院の移転・建替え、指定管理者制度の導入

令和7年4月から、箕面市立病院において指定管理者(医療法人協和

会)による運営を開始します。

市立病院の移転・建替えについては、現在の建設市況を分析した結果、発注方式を「基本設計からのデザインビルド方式」から「設計施工分離方式」に見直し、基本設計に着手し、早期開院をめざします。

◆通学路等防犯カメラの更新・自治会カメラの補助制度拡充

まちの安全安心を確保するため、半数以上が10年目を迎える通学路や公園に市が設置した防犯カメラについて、順次、新しい機器に更新します。

自治会で設置する防犯カメラについて、実勢価格の上昇等を鑑み、補助対象経費上限額を引き上げるなど、補助制度を拡充します。

◇川合・山之口地区のまちづくり

地権者で組織する組合による土地区画整理事業への補助等による支援を継続するとともに、都市計画道路川合・山之口線の整備を進めます。

◇栗生外院・大畑地区のまちづくり

地元自治会・地権者で組織するまちづくり協議会により、面整備による魅力あるまちづくりの検討が進んでおり、引き続き、技術的支援を行います。

◇創業者の支援

地域経済の活性化と住民の利便性向上の好循環を生み出すため、箕面市内でスタートアップ(創業)に取り組む創業者に対し、補助金の交付と経営の伴走支援を組み合わせた支援を箕面商工会議所と連携して実施します。

主要施策

事業内容	種別	予算額(千円)	所管部局
桜の植樹・箕面市みどりの基本計画の改定	新規	6,080	みどりまちづくり部
・公園施設長寿命化計画に基づく公園のリニューアル	継続	164,837	みどりまちづくり部
・市役所屋上の一部緑化と一般開放	新規	26,136	みどりまちづくり部
・(仮称)新みのおサンプラザ1号館の整備	継続	1,659,115	地域創造部
・滝道の活性化	新規	24,333	地域創造部 みどりまちづくり部
・阪急桜井駅周辺の活性化	継続	400,171	地域創造部 みどりまちづくり部
・アートプロジェクト	新規	4,601	子ども未来創造局
・ニュージーランドのハット市との国際協力都市30周年	新規	2,200	人権文化部
・スポーツチームとの連携	新規	165	子ども未来創造局
・新市立病院の移転・建替え、指定管理者制度の導入	継続	2,926,076	市立病院
・通学路等防犯カメラの更新・自治会カメラの補助制度拡充	継続	86,759	総務部 みどりまちづくり部
・川合・山之口地区のまちづくり	継続	1,160,241	地域創造部 みどりまちづくり部
・栗生外院・大畑地区のまちづくり	継続	2,808	地域創造部
・創業者の支援	新規	7,694	地域創造部

3. 便利で安心 歩いてどこでも行けるまちへ

◆バス路線網の最適化

バス路線再編後の利用状況やアンケート結果などをもとに、路線バスの社会実験結果に伴う見直しやオレンジゆずるバスのルート等の見直しを進め、最適な運行内容を決定します。

◆新たな地域公共交通の導入

多様化する移動ニーズに対応した新たな地域公共交通の仕組みの構築をめざし、箕面・新稻及び栗生間谷・彩都の高低差の大きい地域で実証運行中のAIオンデマンド交通「のるーと箕面」や、市内外のサイクルステーションで電動アシスト自転車を自由に貸出・返却できるシェアサイクルのサイクルステーション拡充を行います。

◆オレンジゆずるタクシー当日予約枠の復活

当日予約枠を廃止する運用としていたオレンジゆずるタクシーについて、令和7年4月から当日予約枠を復活させ、電話予約時間も8時から17時までに拡大させるなど運用を変更します。

◆防災力の向上

既存の避難所を「完全プライベート型避難所」へと整備し、生活環境を改善するため、約5千張りのテント型パーティションなどの資機材を追加整備します。これにより、全避難所で約1万3千人分のプライバシーに配慮した衛生的な空間を確保します。

地域防災ステーションの設置を拡充し、誰もが歩いて行ける距離に避難所または地域防災ステーションがある環境をめざします。

災害対策本部の機能強化を図るため、災害発生場所や範囲、各対策部の対応状況などを一元管理・共有する情報共有システムや大型

モニターの導入等を行います。

◆「箕面市・豊能町の今後の消防需要に基づく消防力保全計画」による
消防拠点の整備

市内5カ所目の新たな消防署「(仮称)箕面中部拠点」の工事を継続するとともに、東分署の移転・建替え先である「(仮称)箕面東A拠点」の造成工事を進め、建築工事に着手します。両拠点とも令和8年4月の開署をめざします。

◆障害者自立支援センターあかつき園の建替え

昭和53年の開設から45年以上が経過し、老朽化が著しい「あかつき園」を建て替えます。令和9年4月の開所をめざし、新年度から本格的な工事に着手します。定員を新たに30人増やし、100人定員の重度障害者のための市立生活介護事業所を整備します。

◆障害者自立支援センターいろはもみじ萱野の整備

中部地域において、重度障害者のための市立生活介護事業所として、60人定員の「いろはもみじ萱野」の施設整備を進め、令和7年7月に開所します。

◇介護・障害施設等への物価高騰対策支援

地方創生臨時交付金を活用し、介護・障害施設等に対し、物価高騰対策支援金を交付します。

◇高齢者・障害者等の外出促進

高齢者や障害者等の外出促進に繋げるため、歩道上や公園に令和6年度から令和8年度までの3年間で約140基のベンチを増設し、500m圏内

にベンチがある環境を整えます。

事業内容	種別	予算額(千円)	所管部局
・バス路線網の最適化	継続	144,483	地域創造部
・新たな地域公共交通の導入	継続	58,464	地域創造部
・オレンジゆずるタクシー当日予約枠の復活	継続	38,088	健康福祉部
・防災力の向上	新規	347,218 ※R6 年度 3 月補正含む	総務部
・「箕面市・豊能町の今後の消防需要に基づく消防力保全計画」による消防拠点の整備	継続	635,459	消防本部
・障害者自立支援センターあかつき園の建替え	継続	854,344	健康福祉部
・障害者自立支援センターいろはもみじ萱野の整備	継続	令和 6 年度予算繰越	健康福祉部
・介護・障害施設等への物価高騰対策支援	継続	31,196	健康福祉部 子ども未来創造局
・高齢者・障害者等の外出促進	継続	15,493	みどりまちづくり部